

平成 29 年度いわて芸文研修会の開催状況について

開催日時	平成 30 年 3 月 8 日（木）13 時 ～ 15 時 30 分
開催会場	岩手県立美術館 ホール
開催内容	<p>◇ 事例紹介</p> <p>(1) 「こども芸術発表会事業」について 講師 奥州市芸術文化協会 事務局 千葉利江 氏</p> <p>(2) 「葛巻町における幼児バイオリン学習の取り組み」について 講師 葛巻町教育委員会事務局幼児教育係長 日向信二 氏</p> <p>(3) 「専門団体における後継者育成の現状と課題」について 講師 岩手県水墨画協会 会長 鈴木孝男 氏</p> <p>◇ 意見交換</p>
参加者	50 名
アンケート回答者	29 名

..... アンケート調査結果

1 本日の研修会のテーマ「文化芸術活動における次世代育成と後継者育成の現状と課題について」のテーマについての感想

(1) 県・市町村出席者

- ・喫緊の課題であり良かった。(5名)
- ・今後も取り組んで頂きたい。(2名)
- ・行政は現場の声を聞いて国に情報を上げるべき。

(2) 市町村芸文協出席者

- ・時宜を得た課題へのテーマ。(3名)
- ・素晴らしい内容の研修会であり毎年開催して欲しい。(2名)
- ・他市町村の次世代育成等の取り組みが知りたかったので今回のテーマはすごく良い。
- ・各組織の指導者の高齢化が進んでおり、加盟団体が消えるという状況も出ている。
- ・震災で後継者を失った。次世代育成は人口増が急務だ。
- ・団体数、会員数が減少し、団体の長がやる気を失っている。これの支援も重要。

(3) 専門団体出席者

- ・喫緊の課題であり良かった。
- ・時期的にもこれからの問題として皆で考えて行くべき大きなテーマ。(2名)
- ・市町村団体、専門団体にとっても直面している最大の課題であり良かった。(4名)
- ・小さい頃からの体験の重要性を皆で共通認識ができて有意義なテーマであった。

(4) その他出席者

- ・他の市町村団体の芸術活動を知る良い機会となった。

2 本日の研修内容の感想

(1) 県・市町村出席者

- ・大変意義深い内容。
- ・積極的な取り組みをされている団体の具体的な事例が把握できて良かった。(2名)
- ・県内でも特色のある取組事例の紹介でとても参考になった。
- ・さくらホールでも子供の育成事業(キッズアート事業)を行っている。次の機会に紹介頂きたい。
- ・次世代に文化芸術活動を引き継いでいく工夫を知る機会となった。

(2) 市町村芸文協出席者

- ・現状の課題に適切に対応した内容の事例を発表して頂いた。(2名)
- ・体験の機会を増やすことの大切さを改めて感じた。
- ・それぞれの講師良かった。特に高齢の水墨画の鈴木講師の説得力が素晴らしかった。
- ・組織を維持するためには何をするか、指導者の問題など考えさせられた。
- ・奥州市の文化庁の補助、葛巻町のヴァイオリン以外の事業等について聞きたかった。
- ・大変参考になった。財政支援状況を説明していただければ深く理解できた。(2名)
- ・郷土芸能の団体はこれから先は人数不足が深刻だ。
- ・体験の場をつくるには公的支援や会場の提供支援が必要。
- ・わかりやすい内容でよかった。(2名)
- ・各事例発表ともそれぞれの取り組みの工夫があり熱心さが伝わり参考になった。

(3) 専門団体出席者

- ・各団体の取り組みは大変に参考になった。(2名)
- ・どの部門の事例発表も興味深く関心のあるものであった。低年齢層からの育成を将来に繋げていくことの大切さ、いかにして継続できるか、とても大きな課題と考える。
- ・それぞれの団体、会員の日頃の活動で実現するしかないのでは。
- ・会員拡大と後継者育成は難しい問題。特に伝統芸術では困難になっている。
- ・上手く取り込んでいる例、苦悩しながら取り組んでいる例、様々聞けて参考になった。
- ・奥州市芸文協、葛巻町教委の取り組みは手間暇かけて育成している点が素晴らしい。水墨画の取り組みは、指導者の育成に重点を置いている点が参考になった。
- ・奥州市の子ども芸術発表会事業は、文化庁や奥州市文化振興財団の支援が大きい力となっていると感じた。
- ・事例紹介は様々な将来への可能性を引き出す素晴らしい取り組みである。
- ・それぞれの事例発表の団体はよくやっていると感心した。学校現場、行政、利用施設の協力等が必要であること、それに気づくこと、そして働きかけることが大切であると感じた。
- ・水墨画以外の専門団体における後継者育成の現状と課題についての状況を知りたい。

3 文化芸術活動における次世代育成と後継者育成のためには今後どのような取り組みが必要か

(1) 県・市町村出席者

- ・もっと身近に芸術文化に触れあうことのできる事業が必要。県の補助金の拡充を希望。
- ・若い方に知ってもらうような取り組みや敷居を下げるような取り組みが必要。
- ・芸文協加盟団体と若者（学生）との接点となるような企画が必要なのではないか。
- ・指導者の育成、地域での取り組み、発表の場の提供、財源（資金、活動費）の確保
- ・地域間連携（広域的な取り組み）が必要。

(2) 市町村芸文協出席者

- ・芸術体験イベントのような取り組みを強めていくことが必要。
- ・指導者が大事で少ないので各芸文協に指導者を派遣して欲しい。
- ・行政の側でも芸術文化を体験する機会を生涯学習の場で多く利用して進めて欲しい。
- ・子供の頃は取り組みやすい環境に有るが次第に消えていく。持続させていくための取り組みをしたい。
- ・次世代育成は、待っているのではなく、こちらが歩み寄ることが必要。体験イベントはもちろん、誰でも気軽に参加できるような事業の企画が必要と感じた。
- ・各団体が合流して新しい流儀の団体を創るか。万一の復活に備えて流儀の記録を保存すべき。
- ・文化活動に住民を含め、子供達に関心を持たせる手法、継続させる支援が必要。
- ・各協会の担当者会議（会長・事務局長）が必要。
- ・文化庁の補助や市町村の支援が必要。
- ・まずは保存が重要。廃れてからでは遅い。

(3) 専門団体出席者

- ・少子化において次世代育成は課題であり、取り組みについては難しい。
- ・伝統文化親子教室事業として続けてきても大人になるに従って持続されなくなる場所をいかにつなげて行けるか。今、指導者が官民一体で取り組むべき。
- ・各種部門の各地域での教室、クラブ活動の充実が必要、資金的なフォローも必要。
- ・行政のバックアップが必要。
- ・組織の風通しの良さが大切。上に立つ方々が仲良く楽しそうに活動している団体は良い。
- ・現在の若者が、従来の文化芸術に対してどのような感想を持たれているか知りたい。大きくかけ離れていてわからないという方が多いと思う。
- ・少子化の流れの中ではすぐには解決できない課題なので、伝統を引き継ぐことを中心に、今できることから少しずつでも取り組んで行くことが必要。
- ・後継者育成のためには、自分自身の目で見たり、体験を通じて興味を持ってもらえるような事業の企画及び広報が重要。芸術体験も多くの機会があれば良いと思う。
- ・芸術文化の活動に対する予算助成の制度を拡充する必要がある。

4 岩手県芸術文化協会の活動への意見・要望など

(1) 県・市町村出席者（⇒ 部分は、現段階での事務局としての対応であること。）

- 冬でない時期に開催していただければ参加しやすい。
⇒ 例年、この時期に県立美術館で開催される「アートフェスタいわて（岩手芸術祭の入賞作品等の展示）」の鑑賞機会の推進及び当協会の他事業実施との関係からこの時期の開催となりました。今後、妥当な開催時期について検討します。
- アンケートの結果、本日の事例の内容を多くの関係者に周知して欲しい。
⇒ 4月中旬に、ホームページへの掲載とともに、出席者、関係団体に送付の予定です。
- いつも前向きな取り組みをしていただき感謝する。
⇒ 事務局で対応可能なものについては実現に向けて努力していきます。
- 地域文化芸術活動の担い手としてどのような組織であるべきか先進事例の紹介を望む。
⇒ 今後、情報収集し、先進事例があれば情報提供したい。

(2) 市町村芸文協出席者（⇒ 部分は、現段階での事務局としての対応であること。）

- 市町村の芸文協にこれまで以上に文化講座の講師の派遣回数を多くして欲しい。
文化講座開催に対する援助はこれからも継続して欲しい。3年間とか長期計画の派遣等。
⇒ H29年度から派遣回数を年20回から30回に拡充しています。大いに活用願います。
- 年々活動に対する力の入れ具合を感じる。現在の活動でも大変有り難い。今後にも期待。
⇒ 会員のニーズを踏まえながら、事務局で対応可能なものについては実現に向けて努力していきます。何でも相談願います。
- 冬でない時期に開催していただければ参加しやすい。 ⇒（上記(1)の通り）
- 児童生徒が各地域の文化祭等を鑑賞できるような取り組みを県教委に提言願いたい。
⇒ 重要な取り組みと考えます。県文化振興課と協議しながら県教委に提言します。
- 派遣事業を活用していただくことから始めるのも体験をさせる手法かなと思う。
⇒ 今後の参考にさせていただきたい。

(3) 専門団体出席者（⇒ 部分は、現段階での事務局としての対応であること。）

- 芸術体験できることは良いことである。今後も芸術体験イベントの拡充をお願いしたい。
芸術体験イベントは多くの県民が美術文化に触れあう機会となった。芸術体験イベントを継続することで、後継者育成のさらなる成果が期待できるのではないかと。
⇒ 平成30年度においても県からの委託により芸術体験イベントを継続することにしております。前年度の実施状況を検証し、多くの方々に楽しんで頂けるようなイベントにしたいと考えております。
- 各団体を紹介するHP作成など、PRの充実をお願いしたい。
⇒ 平成29年にHPをリニューアルし、当協会や会員団体の事業のPR、会員団体のHPとのリンクの取扱いをしています。今後も、PRの充実に努めていきます。
- 30～50代の年代が育っていないことが課題と考える。
⇒ 今後の参考にさせていただきたい。
- 要望等、随時申し上げることができるような雰囲気をもっとお願いしたい。
⇒ 事務局で対応可能なものについては実現に向けて努力します。何でも相談願います。